

神戸市長
久元喜造様

神戸市職員組合
執行委員長 北川



緊急申し入れ書

日頃から、職員の労働条件と職場環境の改善にご努力いただいておりますことに、心より敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、コロナ関連職場を中心に応援体制が構築されています。この非常事態を乗り切るため、全庁挙げて取り組んでいくことは重要です。

応援体制を組んでいる職場は、相当の業務量があることから兼務発令等をしており、特に健康局を中心に業務量は増え続けています。

新型コロナウイルス感染症の収束がなかなか見通せない状況にある中、元の職場においても仕事がなくなったわけではなく、兼務先と両方の業務量があり、非常事態を理由として個々の職員の健康状態の悪化や過重労働など、絶対に認めることはできません。

このような状況の中で、昨年からは保健師が多く採用され、体制強化が図られたことは職場からも歓迎されています。一方で、非常事態の職場に配属され、人材育成やフォロー体制が十分ではない状況の中で、退職や病気休職をせざるをえない状況に追い込まれています。夢と希望をもって神戸市に採用された職員を、立派な人材として育成していくことは、当局の責任が重要であると考えています。職員が健康で安心して働くことができるよう下記の項目を要求します。

1. 兼務発令等で他の職場に応援している職員の健康管理の徹底や勤務体制の確立、兼務先との仕事量を含めて過重労働にならないよう十分に配慮すること
2. 新規採用保健師の人材育成の観点から、新人研修の充実や職場でのフォロー体制の強化をはかること

7

以上